

いするぎ

石動地区

(富山県小矢部市)

- 計 画 期 間 平成18年度～平成22年度
- 面 積 644.7ha
- 交付対象事業費 916.5百万円
- 市人口 28,795人

ポイント 歴史的資源を活かした「交流」と「にぎわい」のあるまちづくり

地区概要 道の駅・地域振興施設を核とした観光交流施設を整備し、来客者を市街地へ誘導を図り、まちなかの活性化へと結びつける。

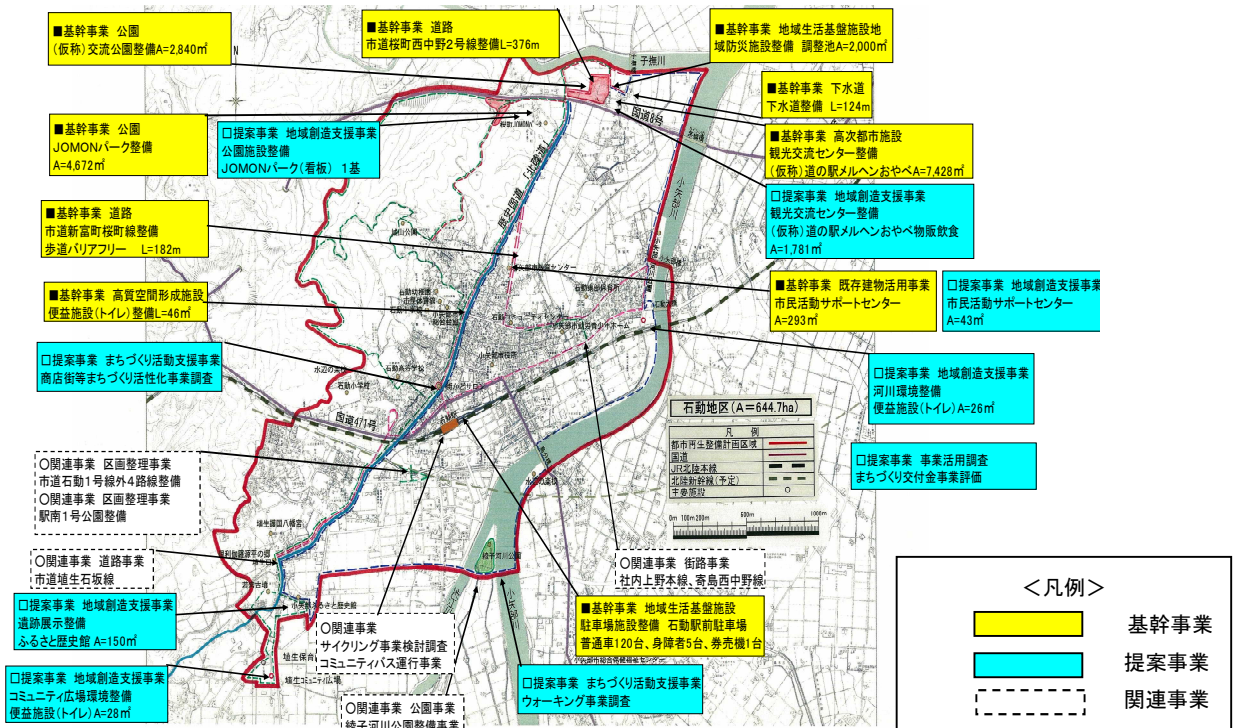
目 標 道の駅・地域振興施設を核とした、「人」「もの」「情報」の交流を図る拠点を形成し、市内外からの来客者を中心市街に誘導し、石動地区全体の「活性化」と「にぎわい」の創出を図る。

指 標 交流拠点や道路等の整備、まちづくり活動の推進により、各施設の利用者数を指標とした。

道の駅・地域振興施設の利用者数	3,415人 (H16)	→	438,000人 (H22)
歴史国道展示施設の利用者数	12,690人 (H15)	→	15,300人 (H22)
街かどサロンの利用者数	9,551人 (H16)	→	11,500人 (H22)

事業内容 基幹事業 (678百万円)
提案事業 (238.5百万円)

道路(幅員6m~12m、L=558m)、公園(2箇所 A=7,512㎡)、下水道(L=124m)、駅前駐車場整備(A=6,900㎡)、調整池整備(A=2,000㎡)、観光交流センター(7,428㎡)、市民活動サポートセンター(A=293㎡)等
観光交流センター内物販飲食施設、コミュニティ広場・河川公園環境整備(トイレ整備)、遺跡展示整備(ふるさと歴史館)、商店街活性化事業調査、ウォーキング事業検討調査等



地区の現況と課題

人口減少、少子高齢化による中心市街地の空洞化が年々進行しており、商店の閉鎖、撤退が相次ぐ状況となっていることから、市街地活性化に向けた積極的な取り組みが急務となっている。



▲ 人通りのない商店街

提案事業の特徴

観光交流センターの整備

観光交流の拠点施設としてセンター内に物産販売、飲食提供、遺跡展示の施設を整備することにより、各施設の相乗効果による集客を図り、にぎわいを創出する。また、観光客をまちなかへ誘導する。

商店街等まちなか活性化事業調査

中心商店街にある空き店舗を利用した街かどサロン「ふれあい」を拠点にまちなかを活性化させるためのスタンプラリーやフリーマーケット、朝市等の社会実験調査を行う。

ウォーキング事業調査

ウォーキングコースの検討、選定を行う。イベントの開催や案内板を設置し、新たな魅力の発見を図る。

市民活動サポートセンターの整備

いつでも、誰でも利用できる施設として、市民活動を支援し、住みよい地域づくりと市民と行政による協働のまちづくりを行う。



▲ 観光交流センター



▲ 街かどサロン

計画策定プロセス

観光交流センター運営計画に関する市民との検討会

観光交流センターの運営計画について、商工会、観光協会、農業生産者団体、縄文遺跡市民ボランティア団体等の代表者で組織された委員会で観光、商業、農業、文化、教育及び市民活動の多方面から整備内容も含めて検討を行っている。



▲ 運営計画検討委員会